

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	大鰐町の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）													
計画の期間	令和06年度～令和07年度（2年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	大鰐町													
計画の目標	内水氾濫発生時の危険箇所判定調査を行い、その結果をハザードマップとしてとりまとめ、住民の内水氾濫避難に資する事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施し、安心安全な地域づくりを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		15	A	12	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	20	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R6当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
1	内水ハザードマップを活用した防災訓練・説明会等の実施をした自治会の割合を0%（令和6年度）から100%（令和7年度）に向上。 実施した自治会/内水浸水想定区域自治会 × 100	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大鰐町	直接	大鰐町	-	-	浸水対策事業	内水浸水想定区域図	大鰐町						12	-	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																	
											小計						12		
											合計						12		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 大鰐町建設課温泉水道室	事後評価の実施時期 令和8年4月
	公表の方法 大鰐町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	浸水による被害軽減を図るために、内水氾濫による浸水想定区域図を作成し、ホームページ上に公表したほか、内水ハザードマップとして内水浸水想定区域自治体を対象に毎戸配布した。 また、例年9月に各自治会において防災訓練を実施しているため内水ハザードマップを活用した防災訓練については令和8年より実施予定となっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

